

日本医師会 生涯教育講座 (2単位 0, 4, 10)  
(公財) 日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師制度認定  
(一社) 日本緩和医療薬学会 緩和薬物療法認定薬剤師制度認定

## がん疼痛緩和のための医療用麻薬適正使用推進の講習会 ～症例から適正使用を学ぶ～

### 開催のご案内

厚生労働省、岐阜県  
(公財) 麻薬・覚せい剤乱用防止センター

厚生労働省、岐阜県及び公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センターは、医療用麻薬の適正使用によるWHO方式がん疼痛治療法の全国への均てん化とがん疼痛治療の更なる向上を目指して、医療関係者にWHO方式がん疼痛治療法に関する実践的な知識を習得していただくための講習会をハイブリッド型講習会（会場参加講習会＋ライブ配信によるオンライン講習会）として下記のとおり開催いたします。

多数の皆様のご参加をいただきますよう、ご案内申し上げます。

### 記

1 日時 2024年1月13日(土) 午後3時～午後6時15分

2 会場 じゅうろくプラザ・大会議室 岐阜市橋本町1-10-11

3 内容

コーディネーター

中部国際医療センター

麻酔・疼痛・侵襲制御センター緩和ケアセンター長 杉山 陽子 先生

(1) 講演 「がん疼痛治療の基本と実際  
～QOL向上に寄与する医療用麻薬の使い方・考え方～」

三重大学医学部附属病院 緩和ケアセンター長 松原 貴子 先生

(2) 講演 「医療用麻薬の薬学的管理と服薬指導のポイント ～症例を通して～」

岐阜大学医学部附属病院 薬剤部 星野 良 先生

(3) 講演 「在宅医療における麻薬管理  
～これで困っています、こうやって解決しています～」

シティ・タワー診療所 管理者 島崎 亮司 先生

(4) 講演 「医療用麻薬の適正管理について」

岐阜県健康福祉部 薬務水道課 薬事麻薬係 長井 基幸 先生

(5) 質疑応答パネルディスカッション

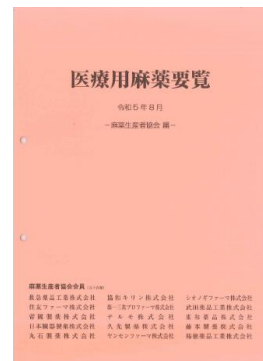
4 対象者 医療関係者 (590人) ※会場定員 (90人)、オンライン定員 (500人)

5 参加費 無料

※会場参加者には講習会テキスト（レジメ集）の他に以下の資料を配布いたします。



医療用麻薬適正使用  
ガイドンス



医療用麻薬要覧

6 主催 厚生労働省 岐阜県 (公財) 麻薬・覚せい剤乱用防止センター

7 後援 (一社) 岐阜県医師会 (一社) 岐阜県薬剤師会

8 協賛 麻薬生産者協会

(救急薬品工業、協和キリン、塩野義製薬、第一三共プロファーマ、住友ファーマ、武田薬品工業、帝國製薬、テルモ、東和薬品、日本臓器製薬、久光製薬、藤本製薬、丸石製薬、ヤンセンファーマ、祐徳薬品工業)

9 参加申し込み

麻薬・覚せい剤乱用防止センターホームページよりお申し込みください。

1月11日(木) 12時まで受け付けます。

10 会場参加における留意事項

1) 開催2日前にQRコードを記載した会場受付用メールをお送りしますので、プリントアウト又は画面表示により当日の受付を行います。

2) 日本薬剤師研修センターの研修受講単位の交付を希望される方は、**薬剤師研修・認定電子システム (PECS) に登録後**、各自の「薬剤師メニュー」の「QRコード」を印刷して会場に持参し、受付時と終了時の2回読み取りを行ってください。

3) 日本緩和医療薬学会の単位は、当日の受講履歴及び学会・会員番号等を確認の後、学会LMS事務局よりシステムに登録されます。

11 オンライン講習会の留意事項

1) WEB会議ツールとして「Zoom」を使用します。

2) 開催2日前に講習会参加用URLを記載したオンライン受付用メールをお送りします。

3) 日本薬剤師研修センター研修受講単位の交付は、交付希望者ごとに**当日の受講履歴を視聴ログで照合**し、その後、受講確認用キーワードの確認を行った後「単位交付対象者リスト」に搭載し、当該リストを薬剤師研修センターに報告します。  
なお、薬剤師研修センターへの報告日は希望者の方々にメールで連絡します。

4) 日本緩和医療薬学会の単位は、**当日の受講履歴を視聴ログ等で照合**した後、学会・会員番号等を確認の後、学会LMS事務局よりシステムに登録されます。

12 お問い合わせ先

公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター (松本、白井)

電話 03-5544-8436